

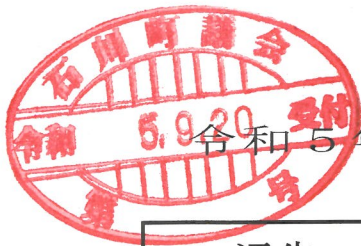
一般質問通告一覧表
(令和5年9月定例会)

通告番号	氏名
通告1番	根本重泰
通告2番	鈴木義延
通告3番	星恵子
通告4番	菊池美知男
通告5番	増子美知夫



第7回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 1 番	令和5年9月20日 午前10時40分 受付	
<p>次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。</p> <p>令和5年9月20日</p> <p>質問者 8 番議員 根本 重泰</p> <p>石川町議会議長 近内 雅洋 殿</p>		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 放課後児童クラブについて	<p>石川町が推進する子育て施策の中で、放課後児童クラブの取り組みは重要である。</p> <p>子育てをする中で、小学生の放課後の時間は大きなウェイトを占めており、共働きの世帯、祖父母がいる世帯でも放課後の居場所を求めている声がある。町の放課後児童クラブ運営について伺う。</p> <p>(1) 保護者のニーズ把握について</p> <p>(2) これまでの運営の課題と対策について</p>	町長 教育長 所管課長
2. 石川バイパスについて	<p>幹線道路ができる事は、人の流れが大きく変わる事である。バイパス開通とその後の石川のまちづくりについて伺う。</p> <p>(1) 石川バイパス早期開通に向けて、町の働きかけについて</p> <p>(2) 石川バイパスが町に及ぼす影響について</p> <p>(3) 石川バイパス周辺環境整備促進に向けた町の働きかけについて</p>	町長 所管課長
3. 婚活事業について	<p>少子化と言われる課題の一つに、未婚者の割合が増えていることがあげられる。この課題への取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 石川コンの実績と課題について</p> <p>(2) 「おせっかいクラブ」事業の取り組みについて</p>	町長 所管課長



令和5年第7回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 2 番

令和5年9月20日 午前11時48分 受付

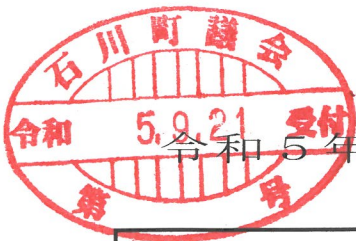
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和5年9月20日

質問者 5 番議員 鈴木 義延

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件名	質問の要旨	答弁を求める者
1. 農業・商工業の活性化について	<p>石川町基幹産業の農業、モノづくりの製造業と流通サービス業について停滞が目立っている。町財源の確保、安心安全で暮らせる環境面からも、町民の所得増を図ることが最重要課題となっている。</p> <p>そこで次のことについて伺う。</p> <p>(1) 畜産業の酪農については牛乳の価格低迷、資材、飼料の高騰、肉用牛及び繁殖牛の価格低迷、飼料高騰などの中での町の支援について</p> <p>(2) 製造業では、脱炭素社会、IOT（モノのインターネット）、DX（デジタル改革）、インボイス制度などにかかる町の支援について</p> <p>(3) 商業・流通サービス業については、事業後継ぎ問題など重要課題が山積している。まちなか再生計画と併せた、これらの課題解決策について</p>	町長 所管課長
2. 高齢者支援策について	<p>石川町の人口13,973人うち、65歳以上の高齢化率は39.4%と非常に高い。</p> <p>こうした状況の中で、一人暮らし高齢者の体調不良時や防犯セキュリティ対策が必要であると考える。</p> <p>また、買い物支援とともに、移動販売に対する支援も必要と考える。</p> <p>そこで次のことについて伺う。</p> <p>(1) 安心安全に暮らせる環境づくり、一人暮らし高齢者へのセキュリティ対策について</p> <p>(2) 買い物支援ミニバスの利用状況について</p> <p>(3) 買い物支援ミニバスを利用できない方に向けた移動販売への支援について</p>	町長 所管課長



令和5年第7回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 3 番 令和5年9月21日 午前9時45分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

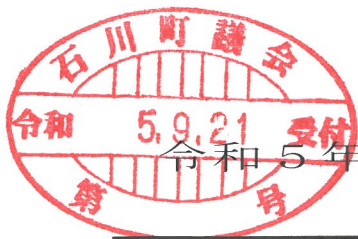
令和5年9月21日

質問者 3 番議員 星 恵子

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1. 政治分野における男女共同参画の推進について	<p>今回の町議会議員選挙において、4人の女性候補が立候補し、4人全員が当選、石川町議会議員の女性参画率は28.6%となった。また、女性候補の平均得票数は約590票、男性候補は約474票だった。「政治分野における男女共同参画推進法」の第2条では、①男女候補者数をできる限り均等とすること、②固定的性別役割分担等を反映した社会の制度・慣行が及ぼす影響に配慮する などが明記されている。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <p>(1) 政治分野における女性参画が進んだことで、町に生じるであろう変化について</p> <p>(2) さらなる男女共同参画推進に向けた、今後の町の取り組みについて</p>	町長 所管課長
2. 小学校の統合にかかる放課後児童クラブについて	<p>石川町の少子化に伴い、野木沢小学校も1・2年生が複式学級となっている。このままいけばやがて石川小学校一校となる状況がある。現在、保護者が仕事と子育てを両立させるためには、放課後児童クラブが欠かせない存在となっている。</p> <p>運営が保護者の希望に沿ったものになっているのか。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <p>(1) 小学校統合の見通しについて</p> <p>(2) 現在の放課後児童クラブの現状及び課題について</p> <p>(3) 石川小学校一校となった場合の放課後児童クラブの運営の見通しについて</p>	教育長 所管課長

<p>3. 児童虐待防止について</p>	<p>9月7日、昨年の児童虐待相談件数が発表された。全国で21万9170件。福島県は2256件、県中児童相談所が790件であった。少子化が進んでいる一方で、児童虐待相談件数は年々増加し、昨年は過去最多となっている。子どもの人権を尊重しているという理念や立場を石川町が明確に発信することは、安心して子育てできる環境づくりにつながると考える。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <p>(1) 石川町の児童虐待の実態について</p> <p>(2) 児童虐待防止に向けた町の施策について</p> <p>(3) 「子どもの権利条例(仮)」の制定による、「いしかわ 子ども子育て応援宣言」のより積極的なアピールについて</p>	<p>町長 所管課長</p>
<p>4. 女性に対する暴力や虐待防止について</p>	<p>児童虐待の中で、心理的虐待が全体の7割を占めた。特に、子どもの前で家族に暴力をふるう「面前DV」が目立っている。「面前DV」の被害者は多くが女性である。母親や祖母の「面前DV」は、子どもの精神的安定や精神面の成長、その後の家庭のイメージづくりにまで影響を及ぼすといわれており、行政からの継続的発信が重要だと考える。</p> <p>そこで次のことを伺う。</p> <p>(1) 公共施設をはじめ、スーパーマーケット、コンビニエンスストアなどのトイレに、DV相談のステッカーを貼る、年一回の講演会の開催など、周知を図る予定について</p> <p>(2) 子どもや女性に対する暴力や虐待を許さないための、町の広報等での継続的発信について</p>	<p>町長 所管課長</p>



令和5年第7回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 4 番	令和5年9月21日 午前10時13分 受付	
<p>次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。</p> <p>令和5年9月21日</p> <p>質問者 7 番議員 菊池 美知男</p> <p>石川町議会議長 近内 雅洋 殿</p>		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 経済的弱者に対しての本町の取り組みについて	<p>歴史的な物価高騰に伴い、食糧費や生活必需品が大きく値上がりし、物価上昇の影響は高齢者ほど大きく特に年金生活者等の生活は、大変厳しさを増している。</p> <p>その様な中であって、その実態をどの様に把握し、また支援を計画し実施しているのか。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 高齢者等低所得者に対する支援策について</p> <p>(2) 介護保険事業における市町村特別給付事業等の物価上昇分の見直しについて</p>	町長 所管課長
2. 将来を見据えた健全財政計画について	<p>大型事業を控え、実施した後の財政は、健全に保たれるのか、町民が心配するところである。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本町に於ける今後の財政の見通しや、特に地方債返済が及ぼす、財政全般に対する影響について</p>	町長 所管課長



令和5年第7回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 5 番	令和5年9月21日 午前10時43分 受付	
<p>次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。</p> <p>令和5年9月21日</p> <p>質問者 11 番議員 増子 美知夫</p> <p>石川町議会議長 近内 雅洋 殿</p>		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 令和4年度決算に基づく健全化判断比率の算定結果と今後の課題について	<p>現在町は、人口減少歯止めの重点施策として道の駅整備、認定こども園整備、歴史民俗資料館整備の大型事業を推進しているが、これら事業による財政状況に影響があるのかについて伺う。</p> <p>(1) 実質公債費比率の算定結果と見通しについて</p> <p>(2) 将来負担比率の算定結果と見通しについて</p> <p>(3) 決算における財政状況と財政運営上の課題について</p>	町長 総務課長
2. 高齢者のゴミ出し支援の取り組みについて	<p>高齢化や、核家族化の進行に伴い、ゴミ出しが困難な世帯が増加している。このような状況を重く見て、環境省では、支援制度の創設・拡充を図るとともに、総務省では、ゴミ出し支援を実施している市町村に対し、経費の半分を特別交付税で措置するなど、支援施策が図られている。</p> <p>本町の高齢化率は39.4%で、国・県よりも高齢化が進んでいる現状を踏まえ、本町のゴミ出し支援に対する考えを伺う。</p> <p>(1) 本町における高齢者のゴミ出し支援の必要性について</p> <p>(2) 高齢者のゴミ出し支援の仕組み作りについて</p>	町長 所管課長

<p>3. 若い世代の定住促進政策である小規模分譲地事業について</p>	<p>町は少子化対策の一つとして、若い世代の定住移住の促進を図る政策として、各地区に小規模分譲地を造成するとしているが、この事業について伺う。</p> <p>(1) 小規模分譲地事業の内容について</p> <p>(2) 開発調査業務費用を予算計上しているが、この調査業務の進捗状況について</p>	<p>町長 都市建設課長</p>
--------------------------------------	--	----------------------